



PCツール取扱説明書

REV.A



目次

1	はじめに.....	- 3 -
2	動作環境.....	- 3 -
3	概要.....	- 3 -
4	インストールについて.....	- 5 -
4.1	アンインストール.....	- 8 -
5	USBドライバ(38K0)のインストール.....	- 9 -
6	バーコードについての注意事項.....	- 9 -
7	動作説明.....	- 10 -
7.1	基本フォルダについて.....	- 10 -
7.2	データメンテナンス手順(通信機能を持ったECRの場合).....	- 11 -
7.3	レポート変換手順(通信機能を持ったECRの場合).....	- 12 -
7.4	データメンテナンス手順(SDカードを用いた場合).....	- 13 -
7.5	レポート変換手順(SDカードを用いた場合).....	- 15 -
8	画面詳細説明.....	- 17 -
8.1	オープニング画面.....	- 17 -
8.2	選択画面.....	- 18 -
8.3	ECR受信画面.....	- 20 -
8.4	ECR送信画面.....	- 24 -
8.5	部門設定画面.....	- 25 -
8.6	PLU設定画面.....	- 27 -
8.7	担当者設定画面.....	- 29 -
8.8	その他設定画面.....	- 30 -
8.9	レポート変換画面.....	- 38 -
8.10	レポートプレビュー画面.....	- 39 -
8.11	ロゴ画面.....	- 40 -
8.12	グラフィックデータの作成.....	- 42 -

1 はじめに

本ソフトはE C Rのプログラムデータ修正、ロゴの作成、レポートデータの閲覧をP C上で行うことを目的とするソフトウェアです。

CDには下記のようなフォルダが入っています。

名前 ▲	サイズ	種類	更新日時
 JET510520		ファイル フォルダ	2008/08/29 17:55
 JET-M1200		ファイル フォルダ	2008/08/29 17:55
 PC TOOL仕様書	1,263 KB	Microsoft Word 文書	2008/07/24 10:47
 PC TOOL仕様書	625 KB	Adobe Acrobat Doc...	2008/08/29 18:46

お求めのE C Rのモデルに合わせてフォルダをオープンいただき、下記インストールの作業を行なってください。 モデルとフォルダは次関連となっています。

モデル名	フォルダ
JETM1200	JET-M1200
JET510 又は JET520	JET510520

尚、「PC TOOL 仕様書.doc」又は「PC TOOL 仕様書.pdf」は本仕様書です。

2 動作環境

本ソフトは以下のOS上で動作します。

- ・ Windows 2000
- ・ Windows XP
- ・ Windows VISTA

※WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です

3 概要

本ソフトは大きく分類し3つの構成に分類されます。

➤ E C R通信機能

E C Rからのデータ受信、E C Rへのデータ送信をUSBにて行います。
また、SDカードを使用してE C Rとのデータ受け渡しも可能です。

注意) : E C Rのモデルによって、RS 2 3 2 C(一般にCOMとよばれる)のもの、USBのもの、両者がなくSDカードのみのものなどがあります。

➤ ECRプログラムメンテナンス

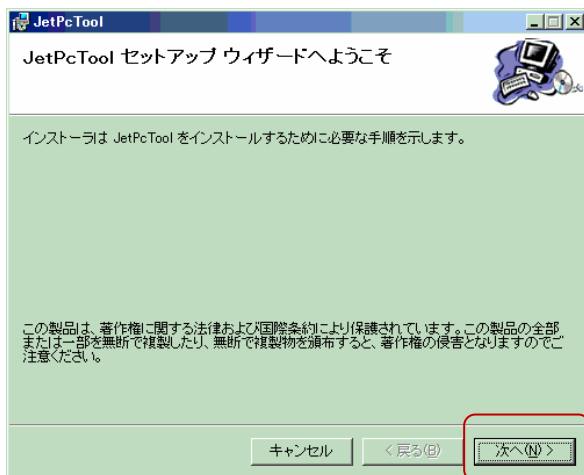
部門、PLU、担当者、ロゴ等の設定データ修正を行います。

➤ ECRレポート変換

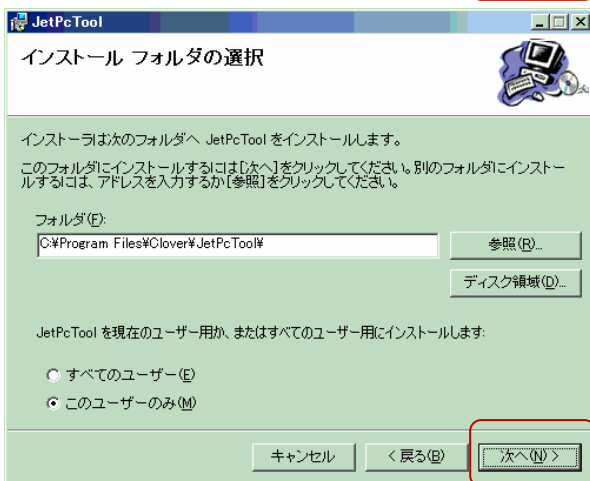
部門別売上レポート、PLU別売上レポート、ジャーナル等のレポートデータをエクセル等で取り込めるCSV形式に変換します。

4 インストールについて

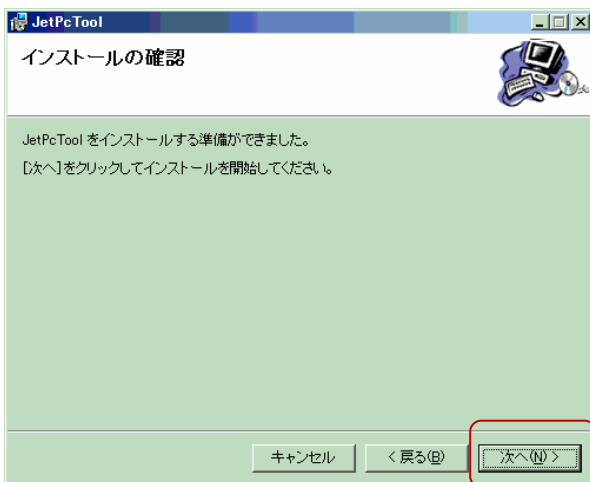
CDに格納されている setup をクリックすると P c T o o l のセットアップが開始されます。



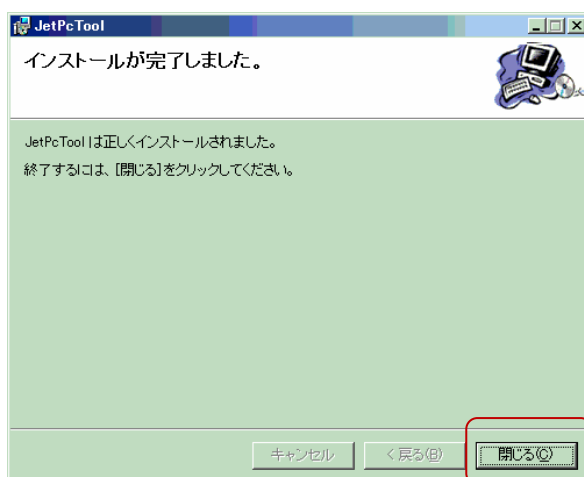
[次へ] を選択して下さい。



フォルダを変更される場合は任意のフォルダに変更し、インストール PC の全てのユーザで PCTool を使用する場合は [全てのユーザ] にチェックしなおして [次へ] を選択して下さい。



[次へ] を選択しインストールを開始して下さい。



正常にインストールが完了すると左の画面が表示され、[閉じる]を押下するとデスクトップ上に EcrPcTool.exe へのショートカットが作成されます。



<インストールフォルダに格納されるファイル>

Res フォルダ	… 本ソフトで使用する BMP 格納フォルダ
Cap フォルダ	… 本ソフトで使用する言語表現格納フォルダ
Ecr.lst	… ECR リスト
EcrCom.exe	… 通信ソフト
EcrCom.ini	… 通信ソフトの設定ファイル
EcrCnv.exe	… レポートコンバートソフト
EcrCnv.ini	… レポートコンバートの設定ファイル
EcrLogo.exe	… ECR グラフィックロゴ作成ソフト
EcrPcTool.exe	… 本ソフトの本体
GDIPLUS.DLL	… Microsoft のグラフィックデバイスインタフェース DLL
Jet1xxxDll.dll	… ECR 用データ DLL。xxx にはモデル名が記載されます。
PcTool.ini	… 本ソフトの設定ファイル

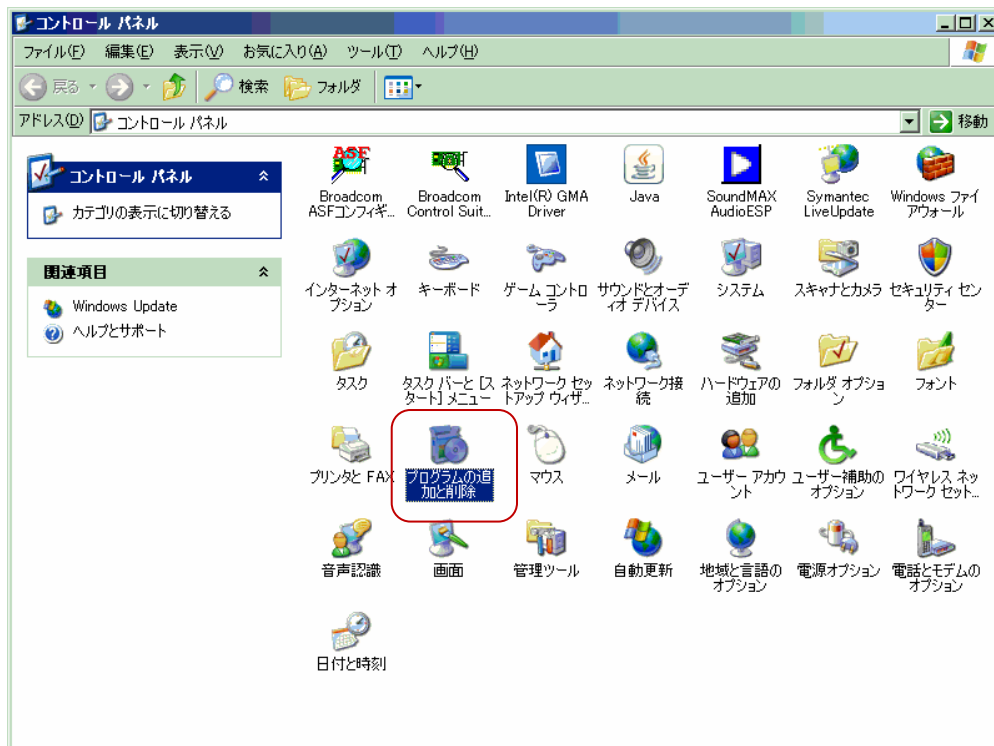
名前	サイズ	種類	更新日時 ▲
Cap		ファイル フォルダ	2008/07/22 19:26
res		ファイル フォルダ	2008/07/22 19:26
GDIPLUS.DLL	1,661 KB	アプリケーション拡張	2004/08/05 21:00
EcrLogo.exe	308 KB	アプリケーション	2008/03/03 12:05
EcrCom.exe	308 KB	アプリケーション	2008/04/18 10:12
EcrCnv.exe	192 KB	アプリケーション	2008/07/15 13:33
EcrPcTool.exe	616 KB	アプリケーション	2008/07/15 13:33
Ecr.lst	1 KB	MASM Listing	2008/07/18 11:02
EcrCnv.ini	1 KB	構成設定	2008/07/18 12:17
JetM1200.dll	744 KB	アプリケーション拡張	2008/07/22 19:10
PcTool.ini	1 KB	構成設定	2008/07/22 19:27

注意) : 画面はモデル名 JETM1200 の ECR の場合

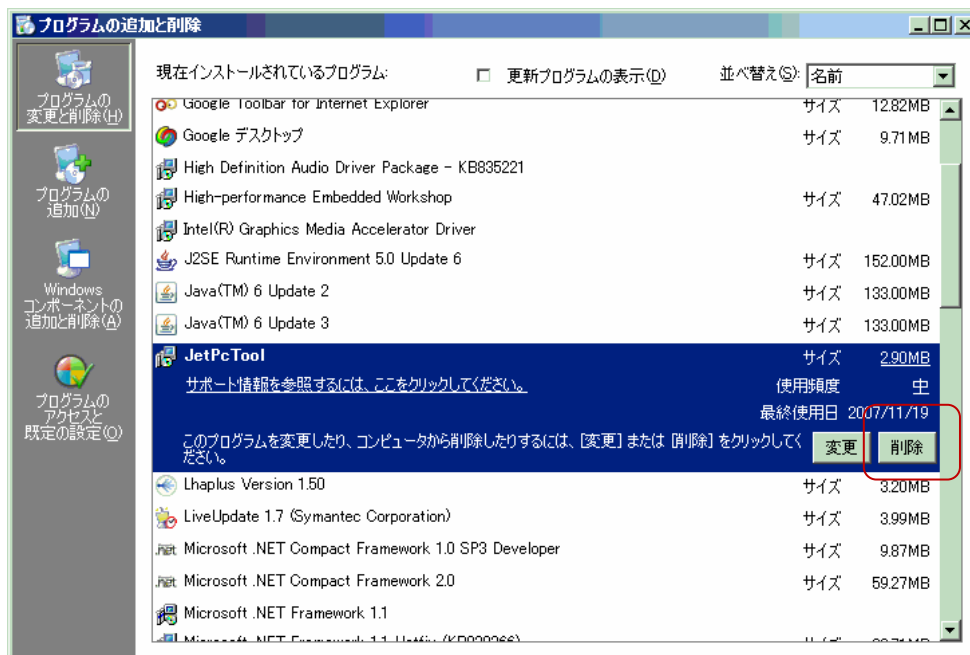
デスクトップ上の EcrPcTool.exe へのショートカットをダブルクリックすると、オープニング画面が表示されます。（オープニング画面が表示されない場合は、インストールフォルダに上記ファイルが全てあるか確認して下さい。）

4.1 アンインストール

PCTool のアンインストールは[スタート]メニューから[設定(S)]-[コントロールパネル(C)]を選択して[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。



一覧から” JetPcTool ” を選択し [削除] ボタンを押下すると PCTool がアンインストールされます。



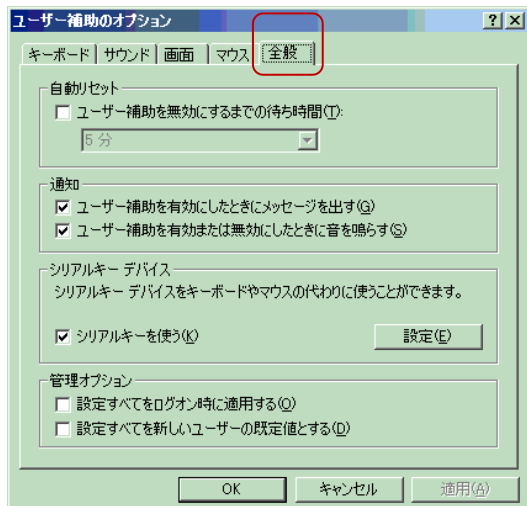
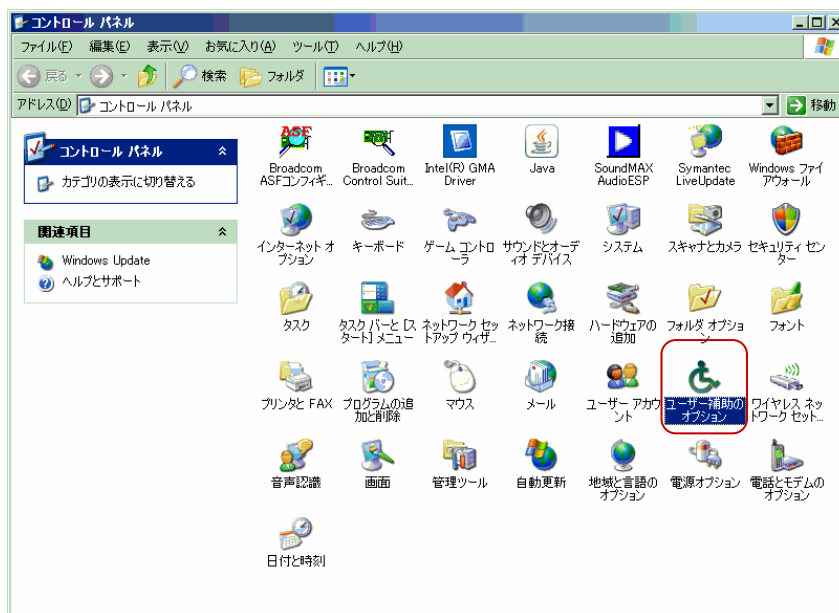
5 USBドライバ (38K0) のインストール

JET510/520 など USBによる通信機能がある場合、USBドライバのインストールが必要です。(ドライバファイルは添付のWinVista_com.infです。)

インストールに関する詳細はCDの[38K0]フォルダにある、ドキュメント「USB_DRIVER.DOC」を参照して下さい。

6 バーコードについての注意事項

PLUコードをシリアル接続可能なバーコードスキャナ-を使用して入力する場合、Windowsの[コントロールパネル]-[ユーザ補助のオプション]の”全般”にある、[シリアルデバイス]の設定を有効にしておく必要があります。(バーコード自体の設定は各バーコードにより異なりますのでお手持ちのバーコードの説明書を確認して下さい。)



全般の[シリアルキーを使う]にチェックし、[設定]ボタン内の項目も、お使いのバーコードの設定に合わせて設定して下さい。

7 動作説明

各画面の説明の前に構成と動作について詳しく説明します。

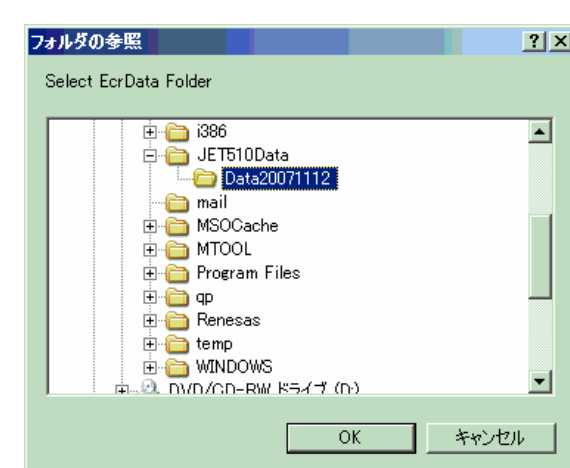
7.1 基本フォルダについて

本ソフトはまずデータの格納対象フォルダを設定することから始まります。
この設定したフォルダがECRとの通信データの受取先であり、送信元となります。
この設定はオープニング画面の次にある選択画面の中にあります。

〈オープニング〉

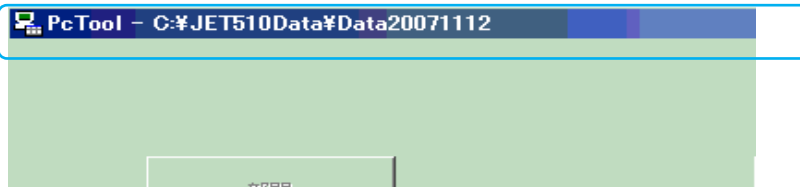


〈選択画面〉



[フォルダ設定]を選択

任意のフォルダを選択すると、画面左上に選択したフォルダが常に表示されます。



再度フォルダ変更を行わない限り、このフォルダが通信データの格納先、修正データ格納先、レポート表示元フォルダとして扱われます。また、基本フォルダをSDカードにすることでECRとSDカード経由でデータの受け渡しができます。

(注意：SDカードの場合、ECRが作成するフォルダの構成上、データメンテナンスとレポート閲覧は同時には行えません。)

7.2 データメンテナンス手順（通信機能を持ったECRの場合）

ここでは基本的なデータのメンテナンス手順を説明します。（先に説明した「07.1 基本フォルダについて」の設定は完了しておく必要があります）

<選択画面>



[ECR データ受信]を選択し、ECRからデータを受信します。

※ECRの通信機能より、OFFモード位置にモードキーがないと通信ができないモデルがあります。

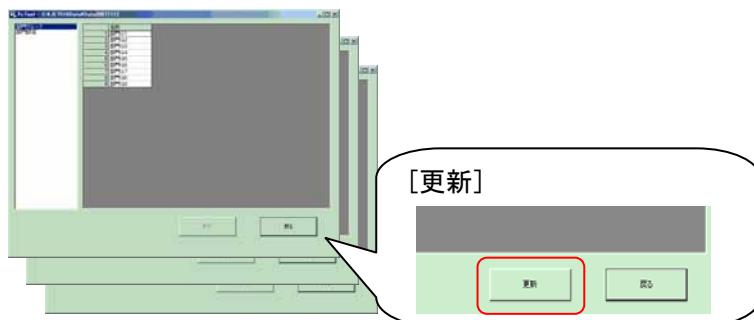
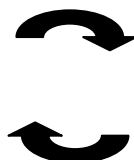
<ECR 受信>



受信したいデータにチェックをして[受信開始]を押下します。

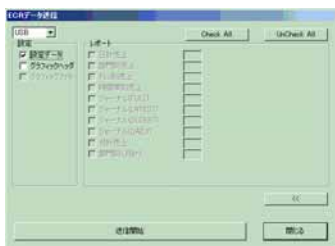
完了後、[閉じる]を押下し、選択画面に戻ります。

<選択画面>



各データメンテナンス画面にてデータを修正し ECR 送信前にデータを保存します。（保存は画面右下の[更新]ボタンです）

<ECR 送信>



<選択画面>から[ECR データ送信]を選択し送信するデータをチェックして[送信開始]を押下します。

※送信時も受信と同様に、ECRの通信機能により、OFFモード位置にモードキーがないと通信ができないモデルがあります。

以上が基本的なデータメンテナンスの手順です。

7.3 レポート変換手順（通信機能を持ったE C Rの場合）

まず、「07.1 基本フォルダについて」の設定を行います。（設定したフォルダにCSVファイルが出力されます。変換されたCSVファイルは、EXCELなどのソフトに取り込めます。）

注意：基本フォルダ内に過去に受信したレポートファイルかCSVファイル（ファイル名は[表 1 ボタンと対象ファイル一覧]を参照）がある場合、E C R受信やレポート変換でファイルが上書きされる恐れがあります。必要なファイルは事前にバックアップをして下さい。）

<ECR 受信>



変換したいレポートにチェックをして[受信開始]を押下します。
完了後、[閉じる]を押し選択画面に戻ります。

<選択画面>



[レポート変換]を選択します。

<レポート変換>



変換したいレポートにチェックし[変換開始]を押下します。

以上がレポート変換の手順です。

<レポートプレビュー>



付属機能として、<選択画面>から[レポートプレビュー]を選択すると基本フォルダにあるCSVの閲覧が行えます。

7.4 データメンテナンス手順（SDカードを用いた場合）

SDカードを用いたデータのメンテナンスの手順を説明します。

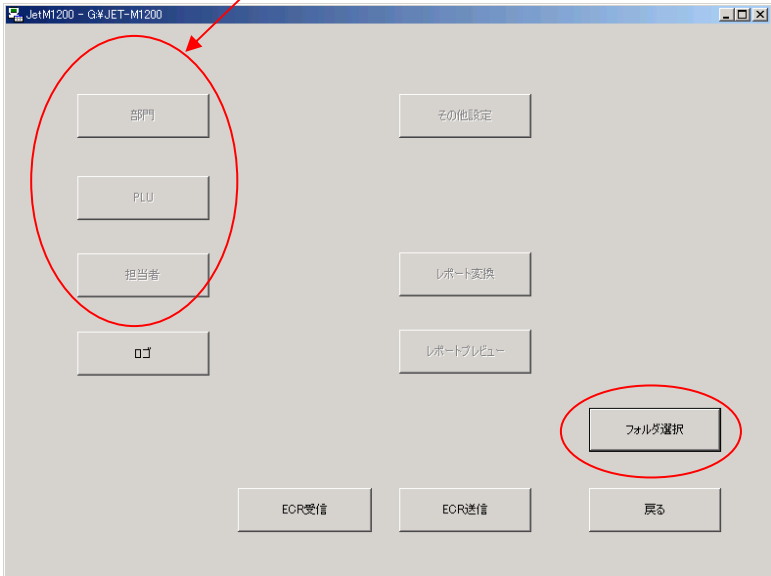
お使いの ECR によって、事前に設定データを SD カードにセーブしてください。

詳細は ECR 付属の取説をご参照ください。

この SD カードを PC に接続します。一般の PC では SD カードリーダーライターユニットなどが別途必要となります。ご購入いただきご準備ください。

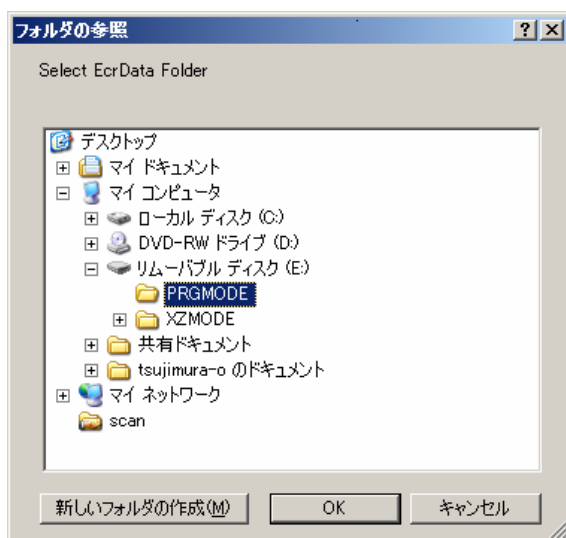
<選択画面>

この状態ではこれらメニューは認識されていません。



この状態ではメンテナンス用ボタンは認識されていません。

「フォルダ選択」ボタンをクリックしてください。



左のフォルダ参照画面が表示されます。

「PRGMODE」を選び「OK」ボタンをクリックします。



認識されていなかった、メンテナンスボタンが濃く表示され認識されたことをしめいします。

この後は 7.2 同様に対象のデータをメンテナンスしてください。
保存を行えばそのまま SD カード上のデータに反映されます。

SD カードを PC から抜き ECR に戻し、SD カードからのロード機能を使用することで ECR のデータが更新されます。

注) SD カードの抜き取りは SD カードリーダー/ライターユニットなどの取説に従ってください。

7.5 レポート変換手順（SDカードを用いた場合）

SDカードを用いた（売上）レポートの変換について説明します。

お使いの ECR によって、精算レポートを SD カードにセーブしてください。

詳細は ECR 付属の取説をご参照ください。

この SD カードを PC に接続します。一般の PC では SD カードリーダーライターユニットなどが別途必要となり、ご購入いただきご準備ください。

データメンテナンスの項で説明したと同じようにこの段階ではレポート変換に関するボタンが認識されません。

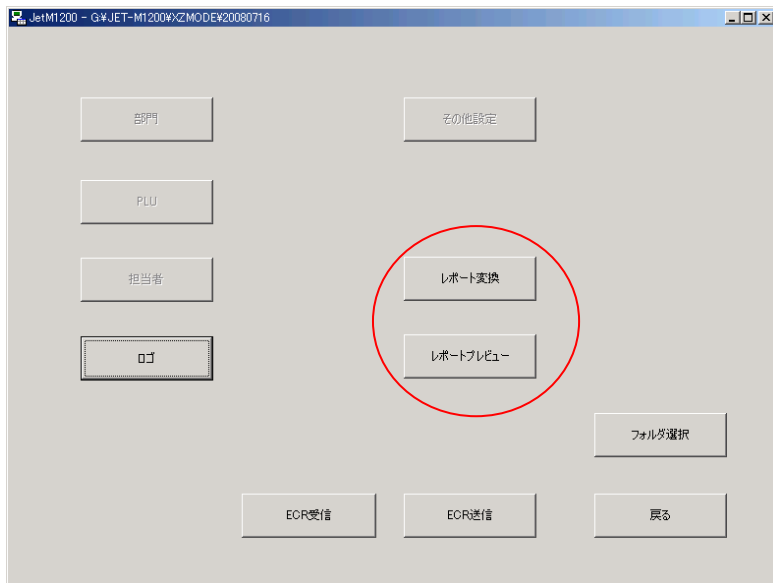
「フォルダ選択」ボタンを押し、認識されている SD カードのドライブから「XZMODE」を選択してください。そのフォルダにはさらに ECR でセーブした精算レポートのデータが格納されているフォルダがあります。

「20080718」のように ECR でセーブした日付情報がフォルダ名として作成されているはずです。

指定のフォルダを指定し「OK」ボタンをクリックしてください。

レポート変換に関するボタンが認識されます。「レポート変換」ボタンをクリックしてください。後は「7.3 レポート変換手順（通信機能をもった ECR の場合）」と同じです。





8 画面詳細説明

各画面の各入力項目についての説明と項目に必要な設定について説明します。

8.1 オープニング画面

データの修正、レポートの閲覧を行いたい ECR を選択する画面です。



	項目名	説明	備考
1	ECR 選択コンボボックス	対象となる ECR を選択します。	所望の ECR を選択
2	ECR 言語コンボボックス	言語を選択します。	
3	ECR 選択ボタン	選択 ECR を確定し各種選択画面に移行します。	

※ECR 選択コンボボックスの表示は「4 インストールについて」で記述した Ecr.lst ファイルに記述されている内容になります。ECR 選択コンボボックスに表示されている内容を変更したい場合、Ecr.lst ファイルをメモ帳等で修正して下さい。（記述方法は Ecr.lst に記述されています。）

8.2 選択画面

各設定画面へ移行するための画面です。



	項目名	説明	備考
1	部門設定ボタン	部門及び部門グループの設定画面に移行します。	
2	PLU 設定ボタン	PLU 及び PLU グループの設定画面に移行します。	
3	担当者設定ボタン	担当者の設定画面に移行します。	
4	ロゴ設定ボタン	レシートの見出し、脚書に印刷する挿絵の設定画面に移行します	
5	その他設定ボタン	支払種別等の ECR 詳細データの設定画面に移行します	
6	レポート変換ボタン	レポートデータの変換画面に移行します。	07.3 レポート変換手順
7	レポートプレビューボタン	レポートの閲覧画面に移行します	07.3 レポート変換手順

8	フォルダ選択ボタン	基本フォルダの選択画面を表示します	07.1 基本フォルダについて
9	ECR 受信ボタン	ECR 受信画面を表示します	通信機能のない ECR は機能しません。
10	ECR 送信ボタン	ECR 送信画面を表示します	“
11	戻るボタン	プレビュー画面に戻ります。	

※ 基本フォルダ上に対象ファイルが存在しない場合、そのボタンは押せない状態になります。

※

ボタン	対象ファイル
部門	PRG_MODE. ECR
PLU	PRG_MODE. ECR
担当者	PRG_MODE. ECR
その他	PRG_MODE. ECR
レポート変換 (レポートプレビュー)	日計売上 : FING?????. ECR (FING?????. CSV) 部門別売上 : ALDP?????. ECR (ALDP?????. CSV) PLU別売上 : ALPL?????. ECR (ALPL?????. CSV) 時間帯別売上 : HOUR?????. ECR (HOUR?????. CSV) ジャーナル(全取引) : FLEJ?????. ECR (FLEJ?????. CSV) ジャーナル(最新取引) : LAEJ?????. ECR (LAEJ?????. CSV) ジャーナル(最古取引) : OLEJ?????. ECR (OLEJ?????. CSV) ジャーナル(精算回数) : DAEJ?????. ECR (DAEJ?????. CSV) 期間 1 売上 : FIGT?????. ECR (FIGT?????. CSV) 部門別(期間 1) 売上 : ADGT?????. ECR (ADGT?????. CSV) 期間 2 売上 : FGT2?????. ECR (FGT2?????. CSV) 部門別(期間 2) 売上 : DGT2?????. ECR (DGT2?????. CSV) ?????は時間(HHMM)が入ります ()側がレポートプレビューです

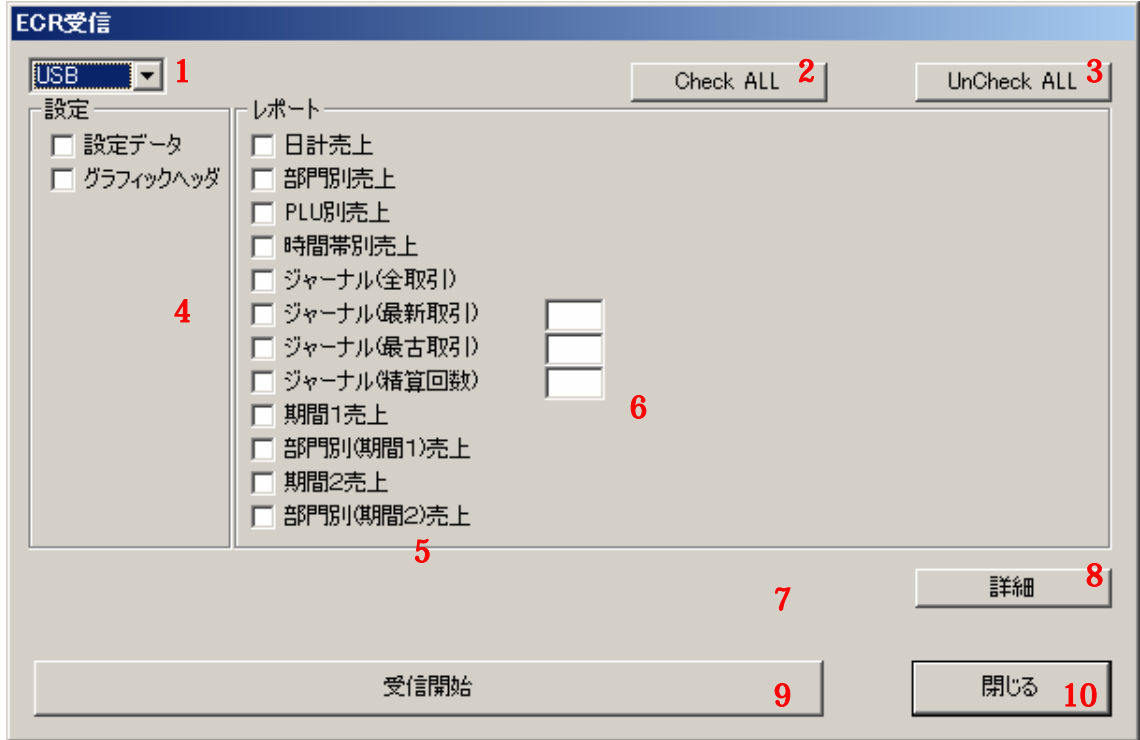
表 1 ボタンと対象ファイル一覧

※ここに記述されていないボタンは押せない状態にはなりません

※ レポート以外の項目は全て PRG_MODE. ECR に保存されます。このことから部門、PLU、担当者、その他設定画面の[更新]ボタンは押した時点でその画面のデータのみが更新されるのではなく、PRG_MODE. ECRに関わる全データが更新されます。

8.3 ECR 受信画面

ECRからデータを受信する画面です。



	項目名	説明	備考
1	ポート選択ボックス	通信ポートを選択します。	一度設定すると、次回から初期値は設定したポートになります。
2	Checkall ボタン	全データにチェックが入ります。	
3	UnCheckall ボタン	全データのチェックを外します。	
4	設定データ	ECRで扱う設定データが表示されます。	チェックすると受信対象になります。
5	レポートデータ	ECRで扱うレポートデータが表示されます。	チェックすると受信対象になります。
6	レポートデータパラメータ	レポートのパラメータを入力します。	パラメータに関しては ※1 参照
7	受信中情報エリア	受信中に受信情報を表示します。	
8	情報表示非表示ボタン	受信情報を表示、非表示の切り替えボタンです	

9	受信開始ボタン	押下するとチェックされたデータを ECR から受信します。	
10	閉じる	<選択画面>に戻ります。	

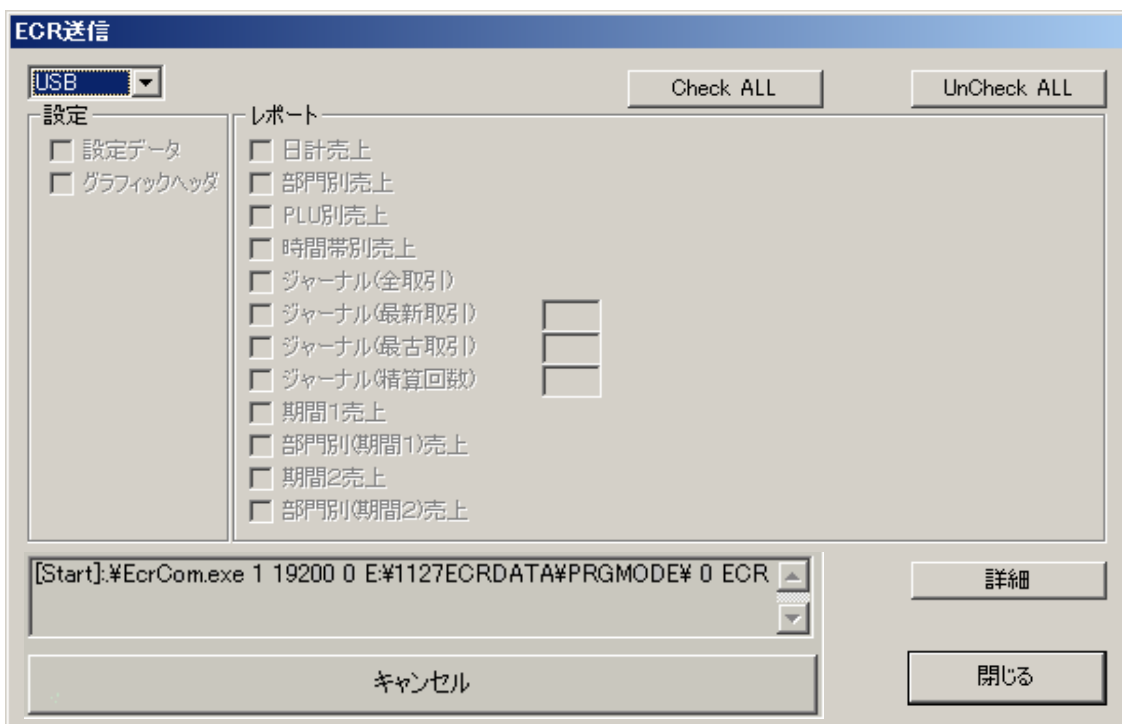
※受信データは基本フォルダ内の対象ファイルは上書きされます。対象ファイルを保存しておきたい場合、受信前に事前にエクスプローラ等を使用し別フォルダに保存しておいて下さい。（対象ファイルに関しては[表 1 ボタンと対象ファイル一覧]を参照）

※1 パラメータについて

パラメータの入力が行えるレポートは以下の3つです。

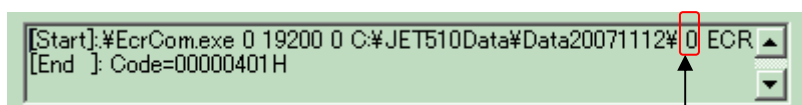
レポート名	パラメータ値の意味合い
ジャーナル(最新取引)	新しいものから指定件数分のジャーナルが受信対象になります。
ジャーナル(最古取引)	古いものから指定件数分のジャーナルが受信対象になります。
ジャーナル(精算回数)	Z レポートの回数が受信対象になります。（仮に1日に1度Zレポートを出力している場合はここに3と指定した場合、3日分のジャーナルが受信対象になります。）

9の[受信開始]ボタンを押下すると[受信開始]ボタンは[キャンセル]ボタンに変わり、
[キャンセル]ボタンと8の情報表示非常時ボタン以外は押すことができなくなります。
〈受信中画面〉



この状態で[キャンセル]ボタンを押下するとECRの受信を中断することができます。
また、受信中は受信中情報エリアに情報が表示されます。(非表示(<<)の場合は表示されません)

注意：データ受信中に通信ケーブル(USBケーブル等)を抜いたり、ECRの電源ケーブルを抜いたりしないで下さい。

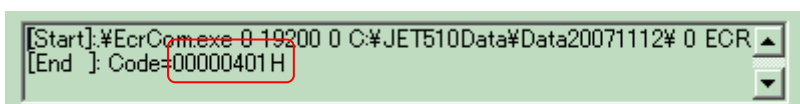


[Start]:と表示し、受信パラメータを表示します。

“ECR”と書かれた前の数字が受信中のデータ
を表しており、番号との関連づけは以下になります。

No	データ
0	設定データ
1	グラフィックヘッダー
2	グラフィックフッター
3	日計売上
4	部門別売上

5	PLU 別売上
6	時間帯別売上
7	ジャーナル(全取引)
8	ジャーナル(最新取引)
9	ジャーナル(最古取引)
10	ジャーナル(精算回数)
11	期間 1 売上
12	部門別 (期間 1) 売上
13	期間 2 売上
14	部門別 (期間 2) 売上



[End]:に表示される Code は受信結果です。

結果は受信が正常に行われたのか異常に終わったのかを表示しており、番号と内容の関連付けは以下になります。

Code	内容
00000000H	正常に受信できました。
00000001H	受信をキャンセルしました。
00000203H	パラメータ 1 の値がパラメータ 2 の値を超えています。
00000208H	パラメータの値が不正です。
00000401H	USB-COM ポートのオープンができません
00000402H	通信にて書き込みエラーが発生しました。
00000801H	指定されたファイルをオープンできません。
00000802H	指定されたファイルを読み込みできません。
00000803H	指定されたファイルが作成できません。
00000804H	指定されたファイルが書き込みできません。
00001001H	E C R が BUSY 状態です
00001002H	E C R からエラーが返されました

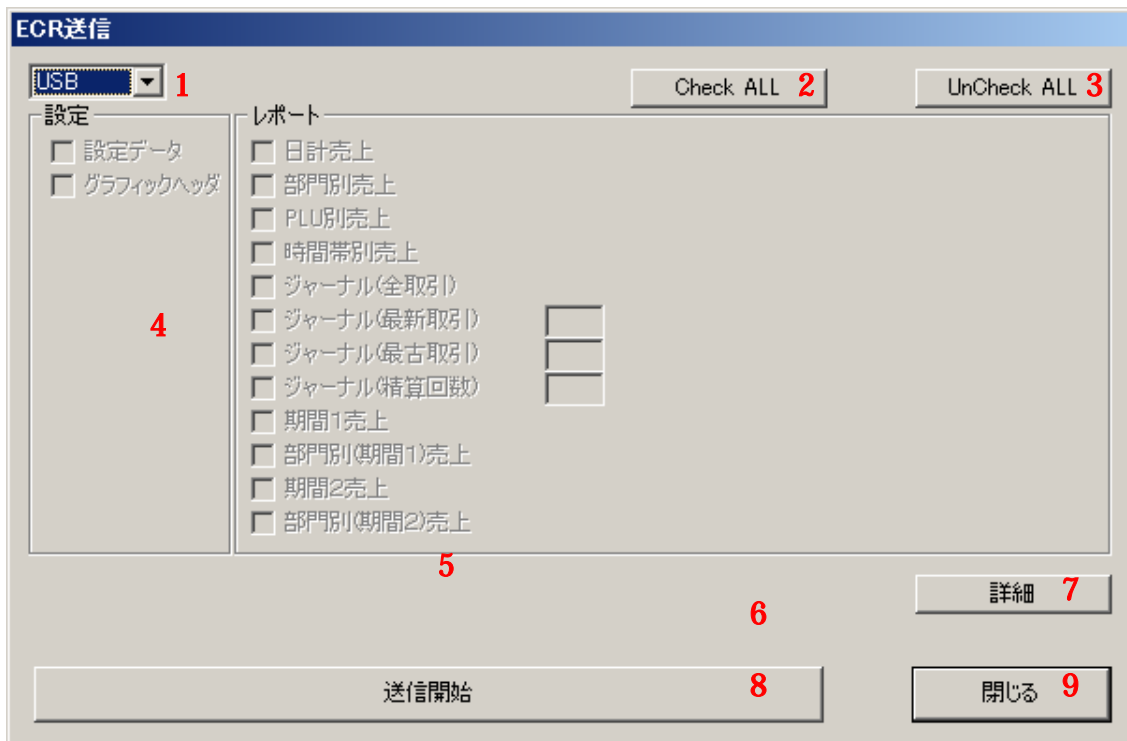
0000203H、0000208H が表示された場合、パラメータの値を確認して下さい
0000401H、0000402H が表示された場合、通信ポートの設定が正しいか確認して下さい。

0000801H~0000804H が表示された場合、基本フォルダのハードディスクドライブの未使用領域がほとんどなくなっている状態でないか確認して下さい。

00001001H、00001002H が表示された場合、E C R の状態を確認して下さい。

8.4 ECR 送信画面

ECRヘデータを送信する画面です。



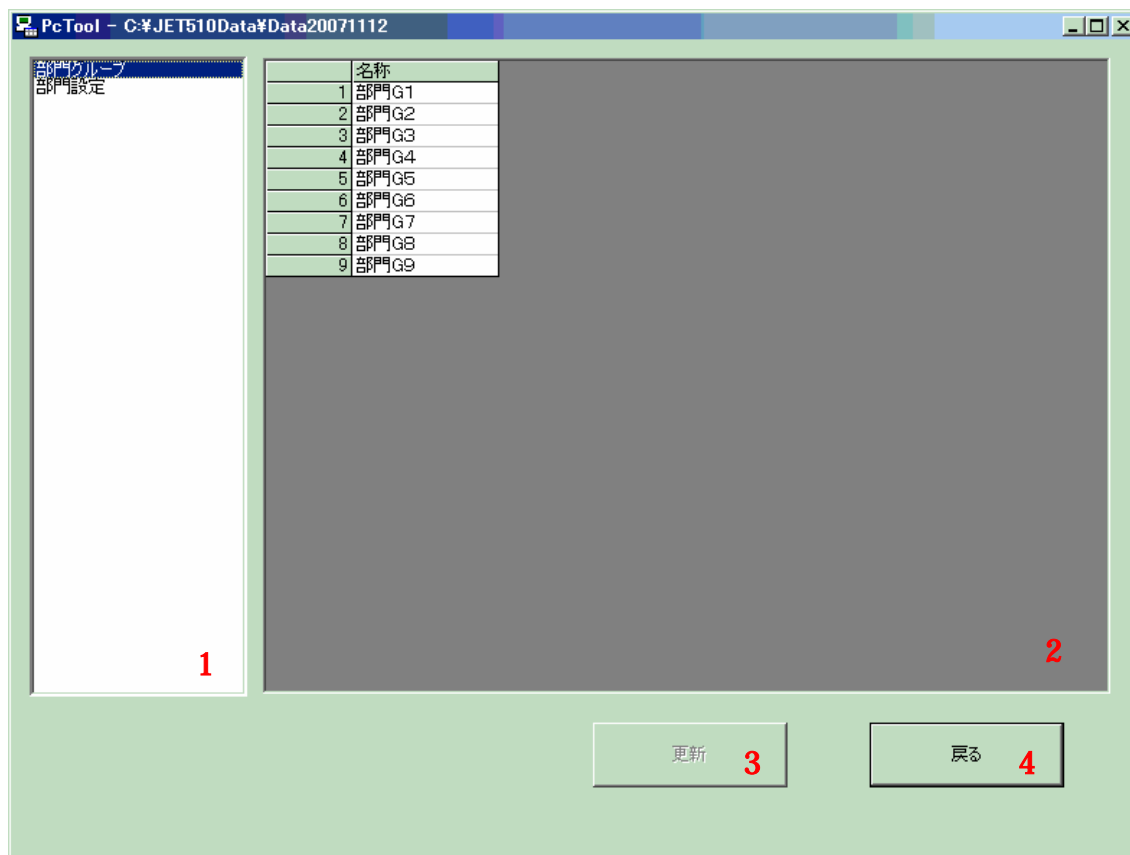
	項目名	説明	備考
1	ポート選択ボックス	通信ポートを選択します。	一度設定すると、次回から初期値は設定したポートになります。
2	Checkall ボタン	全データにチェックが入ります。	
3	UnCheckall ボタン	全データのチェックを外します。	
4	設定データ	ECRで扱う設定データが表示されます。	チェックすると送信対象になります。
5	レポートデータ	レポートは送信できませんのでこのデータにチェックはできません。	
6	送信中情報エリア	送信中に送信情報を表示します。	
7	情報表示非表示ボタン	送信情報を表示、非表示の切り替えボタンです	
8	送信開始ボタン	押下するとチェックされたデータをECRへ送信します。	
9	閉じる	<選択画面>に戻ります。	

基本的な動作はおよび表示内容は、[08.3 ECR 受信画面]と同じです。
 詳しい内容は[08.3 ECR 受信画面]をご覧ください。

注意：データ送信中に通信ケーブル（USB ケーブル等）を抜いたり、ECRの電源ケーブルを抜いたりしないで下さい。

8.5 部門設定画面

部門グループと部門の設定を行う画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	部門グループと部門設定の切り替えを行います。	
2	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	
3	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
4	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

部門設定、部門グループで入力できる内容は以下の項目です。

<<部門グループ>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 24 文字	-	-	

<<部門設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 24 文字	-	-	
単価	数値 6 桁	0	999999	
限度	数値 7 桁	0	9999999	
G (グループ) 属	数値 1 桁	1	9	
税属	数値 1 桁	0	1	0:課税 1:非課税
種 1	数値 1 桁	0	1	0:正売価 1:負売価
種 2	数値 1 桁	0	1	0:一般アイテム 1:シングルアイテム
種 3	数値 1 桁	0	2	0:オープン&設定 1:オープンのみ 2:設定のみ
種 4	数値 1 桁	0	1	0:一般 1:ハッシュ

E C R側での倍角表示について

E C Rで表示もしくは印刷を倍角文字にしたい場合は[F 5]キーを押して倍角指定特殊文字を挿入します。

- 半角を倍角にする場合

Ex) ” PLU01 ” を倍角にする。

[F5]P[F5]L[F5]U[F5]0[F5]1 と文字の前に[F5]キーを入力します。

PCツールでの表示上は” ·P·L·U·0·1 ” と F5 キーを押した部分に · が表示されます。

※ 日本語全角入力で P L U 0 1 と入力した場合と Jet510/520 での表示は

同じですので、半角文字を全角にする場合、特に倍角指定特殊文字を使う必要はありません。

- 全角を倍角にする場合

Ex) ” 部門 0 1 ” の部門を倍角にする。

[F5]部[F5][F5]門[F5]01 と、全角文字を[F5]キーで囲みます。

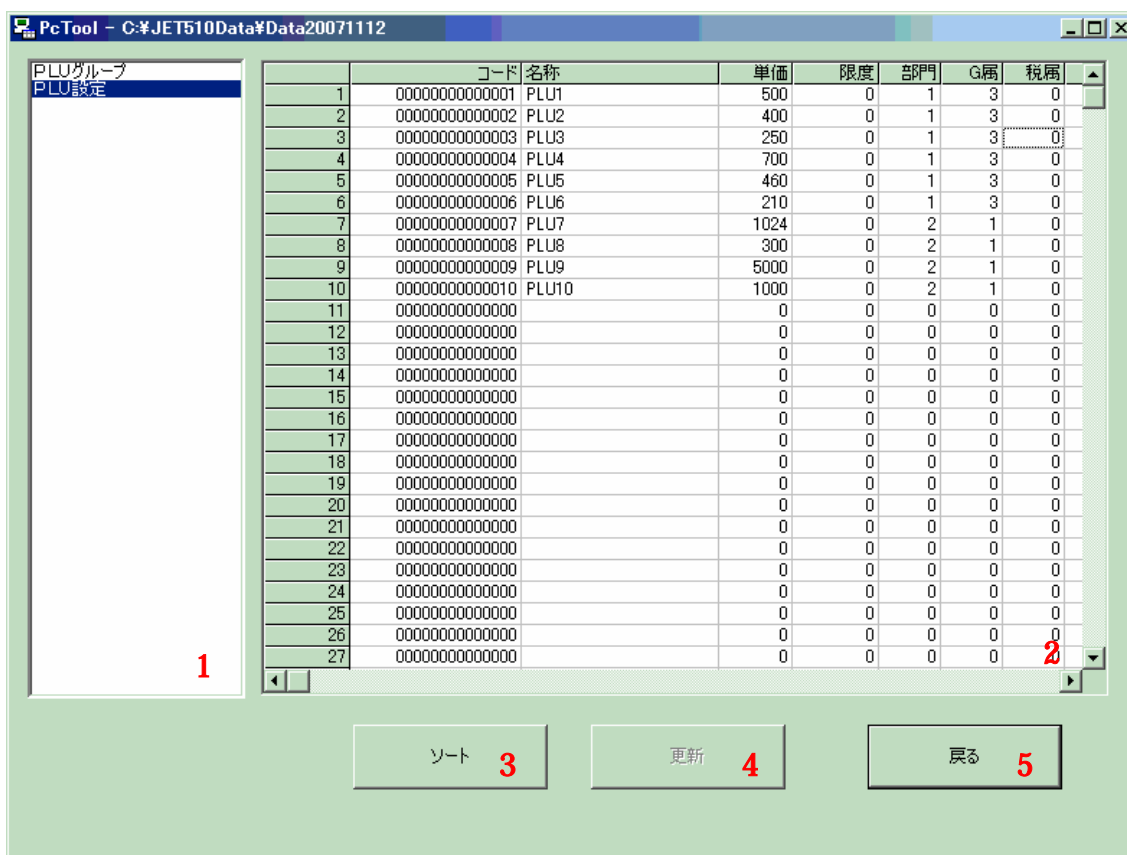
PCツールでの表示上は” ·部·門·0·1 ” と F5 キーを押した部分に · が表示され、Jet510/520 では横倍角で表示されます。

注意：囲まなかった場合、(“ ·部 ” 、 ” 部 · ”) は文字化けする可能性があります。

- 入力グリッドの数字エリアで右クリックをすると詳細画面が出ます。

8.6 PLU 設定画面

PLU グループと PLU の設定を行う画面です。



項目名	説明	備考
1	選択リスト	PLU グループと PLU 設定の切り替えを行います。
2	入力グリッド	各入力を行うエリアです。
3	ソートボタン	PLU コード昇順にソートします。 PLU 設定のみ表示されます
4	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します
5	戻るボタン	選択画面に戻ります。

※ PLU コードが昇順に並んでいることが前提です。更新前に PLU コードを[ソート]を使用して並べ替えて下さい。

※ PLU コードが重複していると更新時にエラーとなります。

PLU 設定、PLU グループで入力できる内容は以下の項目です。

<<PLU グループ>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 12 文字	-	-	

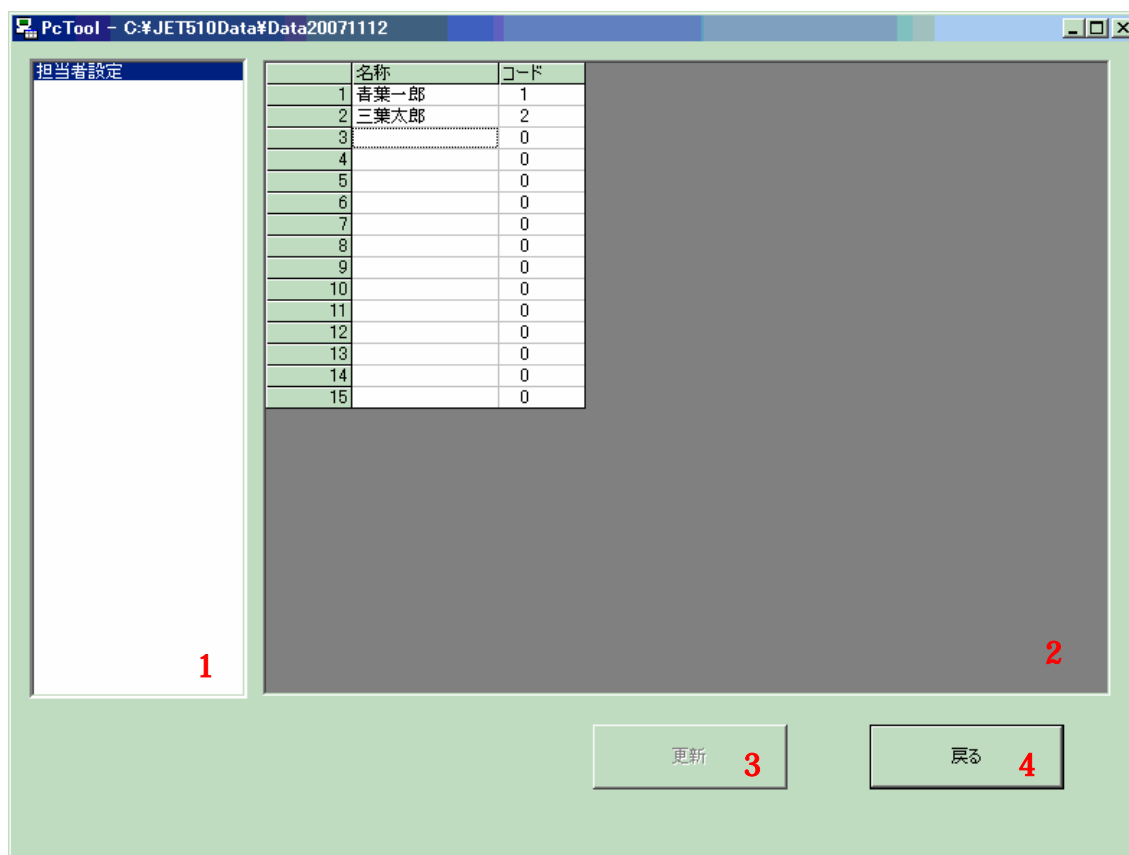
<<PLU 設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
コード	数値 14 桁	0	1000	0 は PLU 使用不可となります
名称	半角 16 文字	-	-	
単価	数値 6 桁	0	9999999	
限度	数値 7 桁	0	9999999	
G (グループ) 属	数値 1 桁	1	9	
税属	数値 1 桁	0	1	0: 課税 1: 非課税
種 1	数値 1 桁	0	1	0: 正売価 1: 負売価
種 2	数値 1 桁	0	1	0: 一般アイテム 1: シングルアイテム
種 3	数値 1 桁	0	2	0: オープン&設定 1: オープンのみ 2: 設定のみ
種 4	数値 1 桁	0	1	0: 一般 1: ハッシュ

入力グリッドの数字エリアで右クリックをすると詳細画面が出ます。

8.7 担当者設定画面

担当者の設定を行う画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	-	この画面は担当者設定のみです
2	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	
3	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
4	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

担当者設定で入力できる内容は以下の項目です。

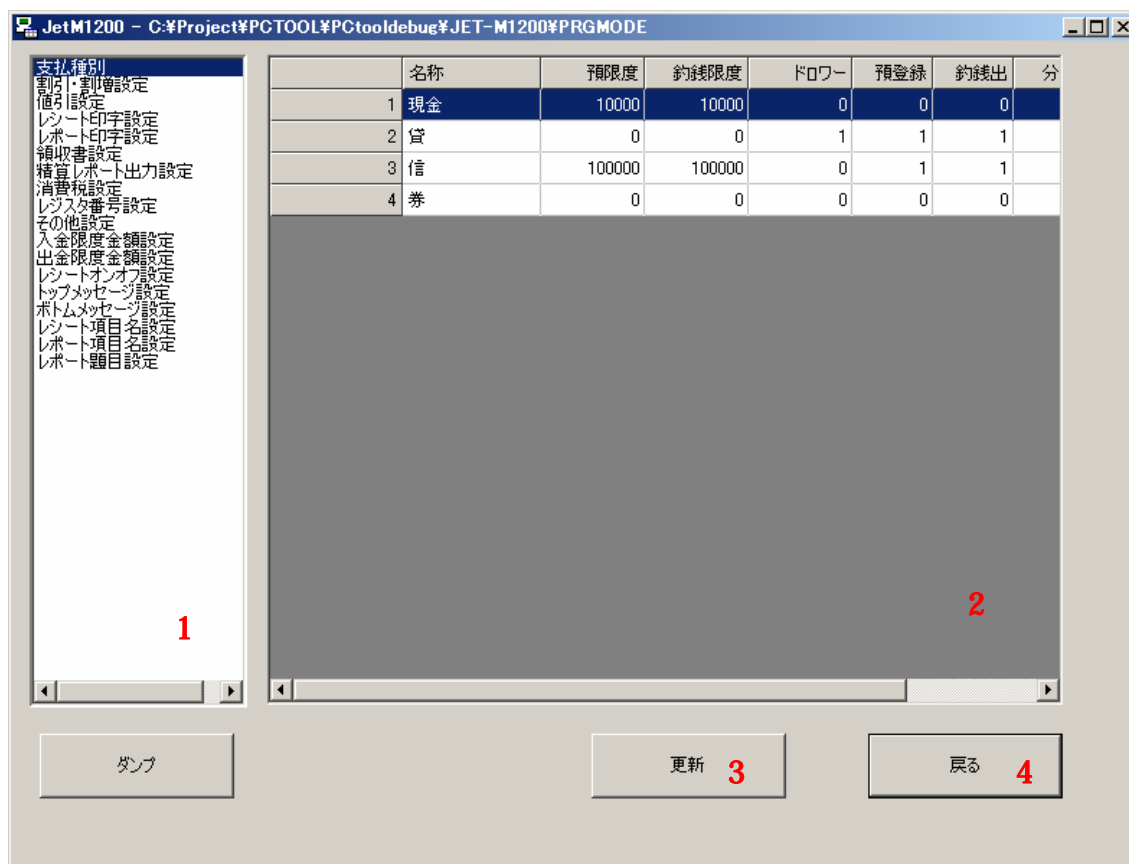
<<担当者設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 12 文字	-	-	
コード	数値 4 桁	0	9999	0 は担当者使用不可となります

入力グリッドの数字エリアで右クリックをすると詳細画面が出ます。

8.8 その他設定画面

ECRに必要なデータの設定を行う画面です。



※画面はモデル名 JET-M1200 の ECR の場合

	項目名	説明	備考
1	選択リスト	各種設定の切り替えを行います	
2	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	
3	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
4	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

入力グリッドの数字エリアで右クリックをすると詳細画面が出ます。

その他設定で入力できる内容を次ページから記します。

<<支払種別>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 12 文字	-	-	
預限度	数値 9 桁	0	999999999	
釣銭限度	数値 9 桁	0	999999999	
ドロワー	数値 1 桁	0	1	0:オープン 1:クローズ
預登録	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能
釣銭出	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能
分割登録	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能
預強制	数値 1 桁	0	1	0:非強制 1:強制

<<割引・割増設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
割引・割増率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が少数になります。 1000= 10.00
率入力	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可
端数丸め	数値 1 桁	0	2	0:四捨五入 1:切り捨て 2:切り上げ

※ ECRにより割引のみや、割増キーがあるものなどがあります。

ECR取説をご参照ください。

<<値引設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
割引額	数値 7 桁	0	9999999	
金額入力	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可

<<レシート印字設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
日付	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
時刻	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
一連番号	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
レジ番号	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
アイテム数	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
合計	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
店名ロゴ	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
トップ M	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
ボトム M	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
税シンボル (非課税対象)	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
内税対象額	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない
内税額	数値 1 桁	0	1	0: 印字する 1: 印字しない

<<レポート印字設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
G T印字	数値 1 桁	0	1	日計、月計レポートに G T金額を 0:印字する 1:印字しない
ゼロスキップ	数値 1 桁	0	1	合計 0 の項目を 0:印字する 1:印字しない
戻し合計印字	数値 1 桁	0	1	日計、月計レポートに 戻し登録合計を 0:印字する 1:印字しない
構成比	数値 1 桁	0	1	部門、P L Uレポート に構成比を 0:印字する 1:印字しない

<<領収書設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
収入印紙金額	数値 6 桁	0	999999	収入印紙エリアを印刷 する金額
一連番号印字	数値 1 桁	0	1	領収書に一連番号を、 0:印字する 1:印字しない
領収書名	数値 1 桁	0	1	領収書の題目 0:領収書 1:領収証

<<清算レポート出力設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
日計売上	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方
部門別売上	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方
P L U別売上	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方
ジャーナル	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方
期間 1 売上	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方
部門別（期間 1）売上	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方
期間 2 売上	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方
部門別（期間 2）売上	数値 1 桁	0	2	0:印刷 1:S D 1:両方

<<消費税設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
消費税率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が少数になります。 1000= 10.00
変更予約	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が少数になります。 1000= 10.00

端数処理	数値 1 桁	0	1	0:四捨五入 1:切り捨て
変更予約年	数値 2 桁	0	99	
変更予約月	数値 2 桁	1	12	
変更予約日	数値 2 桁	1	31	

<<レジスタ番号設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
番号	数値 4 桁	0	9999	

<<その他設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
担当者システム	数値 1 桁	0	1	0:使用 1:不要
時刻表記	数値 1 桁	0	1	0:24 時間表記 1:12 時間表記
値引き丸め	数値 1 桁	0	2	0:なし 1:5 円 2:10 円
両替レシート	数値 1 桁	0	1	0:印刷 1:不要
乗数登録	数値 1 桁	0	1	0:乗数 * X 1:X * 常数
モード/レシート印刷	数値 1 桁	0	1	モード (Jet510) 0:レシート 1:ジャーナル レシート印刷 (Jet520) 0:通常 1:縦倍角
ジャーナル印刷	数値 1 桁	0	1	0:通常 1:圧縮
一連番号	数値 1 桁	0	1	レシート一連番号を日計精算レポート出力後に 0:クリアする

				1:クリアしない
領収番号設定	数値 1 桁	0	1	領収番号を日計精算レポート出力後に 0:クリアする 1:クリアしない

<<入金限度額設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
入金	数値 9 桁	0	999999999	

<<出金限度額設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
出金	数値 9 桁	0	999999999	

<<レシートオンオフ設定>> (JET M1200 のみ)

	文字数	最小値	最大値	備考
レシート印刷	数値 1 桁	0	1	レシート出力 0:する 1:しない

<<トップメッセージ設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
メッセージ	半角 32/36 桁			JET510/520 は 32 桁 JETM1200 は 36 桁

<<ボトムメッセージ設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
メッセージ	半角 32/36 桁			JET510/520 は 32 桁 JETM1200 は 36 桁

<<レシート項目名設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 12 桁			

<<レポート項目名設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 12 桁			

<<レポート題目設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 28/32 桁			センター表示 JET510/520 は 28 桁 JETM1200 は 32 桁

8.9 レポート変換画面

EGR から受信したレポートデータを CSV 形式に変換する画面です。

	項目名	説明	備考
1	CheckAll ボタン	変換データを全て変換対象にします	
2	UnCheckall ボタン	変換データを全て変換対象から外します。	
3	変換データ一覧	基本フォルダ内の変換データを一覧形式で表示します。	
4	変換中情報エリア	データの CSV 変換中の状況を表示します。	
5	変換開始ボタン	押下すると、[変換データ]一覧から選択(チェック)したデータの CSV 変換を行います。	
6	閉じるボタン	<選択画面>に戻ります	

※変換データ一覧に表示されるのは“**基本フォルダ**”内に格納されているもののみです。

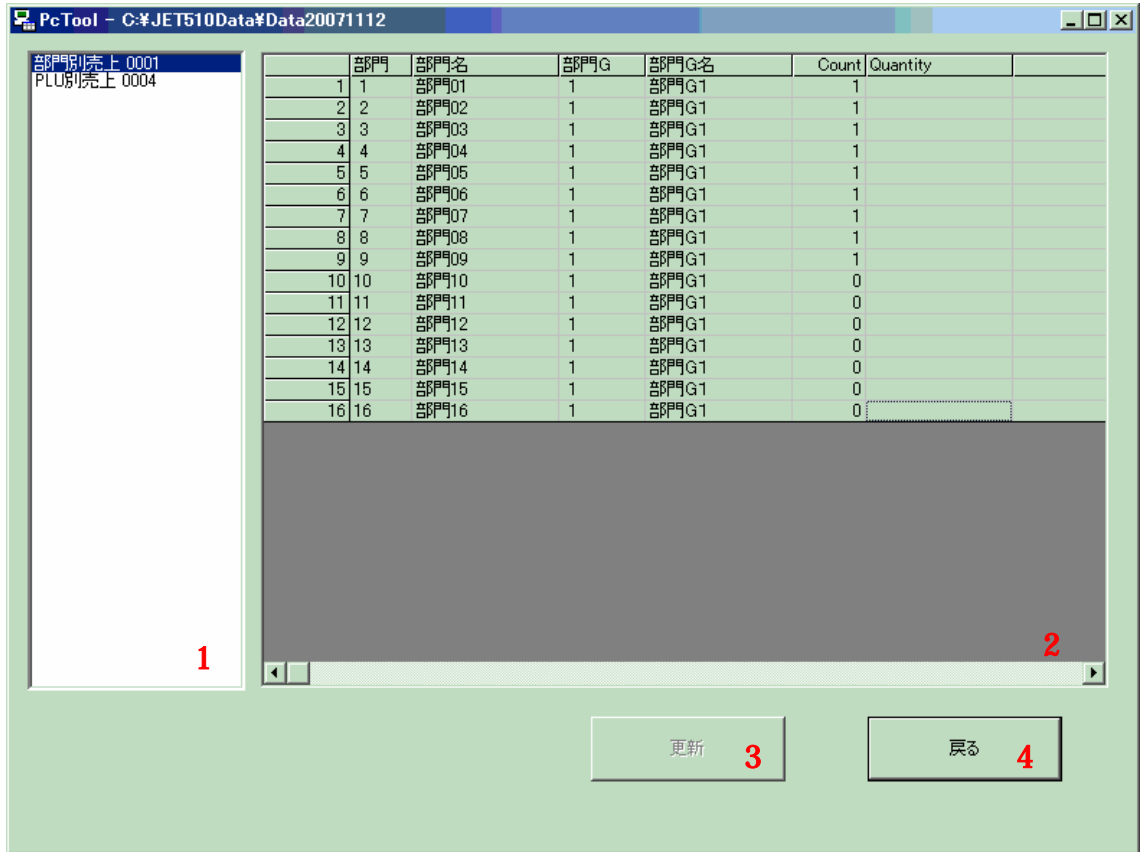
画面上的内容とファイルの関連付けは「[表 1 ボタンと対象ファイル一覧](#)」を参照

また、変換ファイルが既に基本フォルダに存在する場合、ファイルは上書きされます。

CSV ファイルを保存しておきたい場合は事前にエクスプローラ等でコピーして下さい

8.10 レポートプレビュー画面

レポートデータの閲覧画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	基本フォルダ内のレポートを一覧で表示します。閲覧したいレポートを選択すると表示グリッドに内容が表示されます。	
2	表示グリッド	選択されたレポートの内容を表示するエリアです。	
3	更新ボタン	レポート閲覧は更新できませんのでこのボタンは押下できません。	
4	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

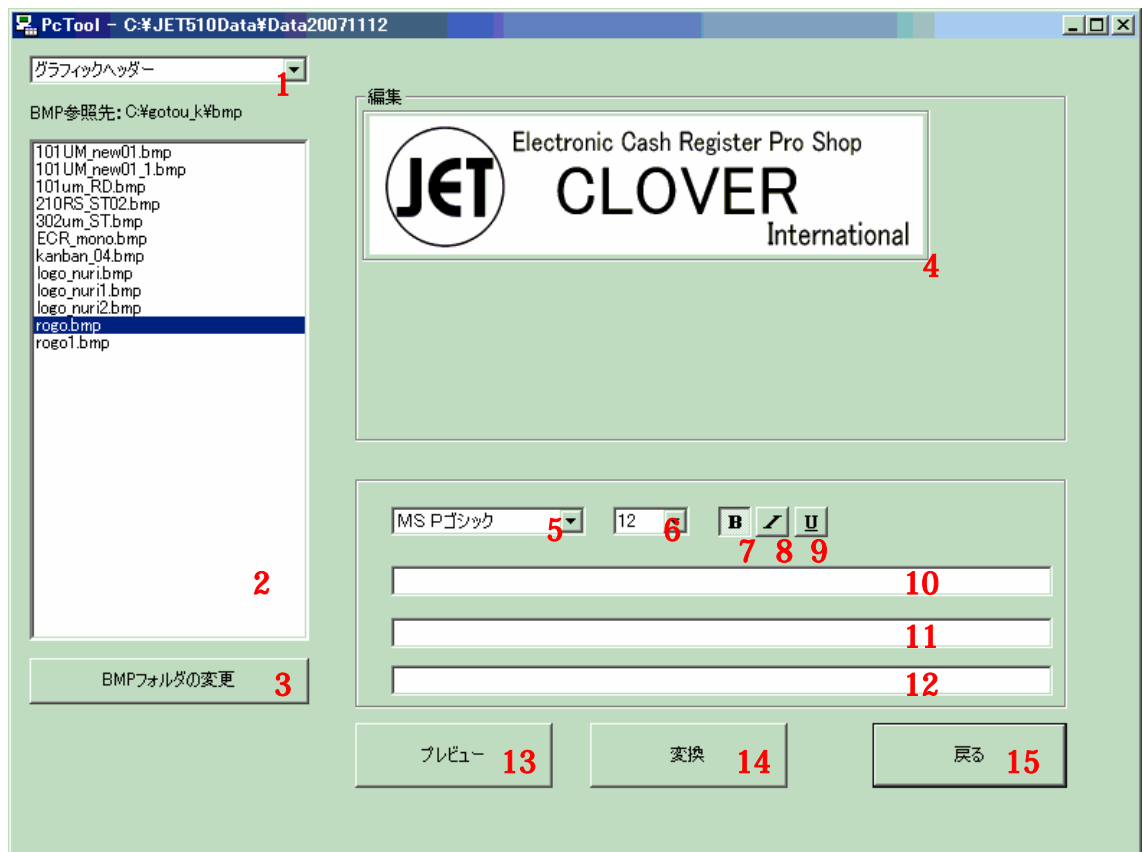
※選択リストに表示されるのは“**基本フォルダ**”内に格納されているもののみです。

画面上的内容とファイルの関連付けは「[表 1 ボタンと対象ファイル一覧](#)」を参照

8.11 ロゴ画面

SDカードを使用しEGRに店名ロゴなどを作成し設定する場合、7.3で説明したデータのメンテナンスと同じように「フォルダ選択」ボタンより、SDカードの「PRGMODE」を選択し、次ロゴ作成の手順に入ってください。

グラフィックヘッダー、フッターのロゴを編集、変換する画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	グラフィックヘッダー、グラフィックフッターのどちらかを選択します。選択した方を対象に編集、変換、プレビューを行うこととなります。	
2	BMP 選択リスト	ビットマップファイルが一覧で表示されます。選択すると4の編集エリアに内容が表示されます。	

3	BMP フォルダ変更ボタン	押下すると、取り込みたい BMP ファイルのあるフォルダを選択できます。 注意：スペースありのフォルダを選択できます。	※基本フォルダは変更されません、あくまで BMP の参照フォルダの選択です。
4	編集エリア	グラフィックデータの編集領域です	
5	フォント選択リスト	入力文字のフォントを選択できます	
6	フォントサイズリスト	入力文字のフォントサイズを選択できます	※フォントによってはサイズを変更しても変化がないものもあります
7	ボールドボタン	押下すると入力文字は太文字になります。	
8	斜体ボタン	押下すると入力文字は斜体になります。	
9	下線ボタン	押下すると入力文字に下線が引かれます。	
10	入力フィールド 1	入力文字フィールドです。	
11	入力フィールド 2	入力文字フィールドです。	
12	入力フィールド 2	入力文字フィールドです。	
13	プレビューボタン	押下すると転送イメージデータを閲覧することができます。	
14	変換ボタン	押下すると 4. 編集エリアのグラフィックデータを ECR へ転送するイメージデータに変換します。	

変換して作成される転送イメージデータのファイル名は BMP 選択リストで選択した BMP ファイル名に依存します。

グラフィックヘッダー：BMP 選択リストの選択 BMP 名_J5H. ECR

グラフィックフッター：BMP 選択リストの選択 BMP 名_J5F. ECR

Ex) logo. bmp をグラフィックヘッダーとして変換すると logo_J5H. ECR になります。

(※BMP を選択せず変換すると BLANK_J5H(_J5F). ECR というファイル名で変換します。)

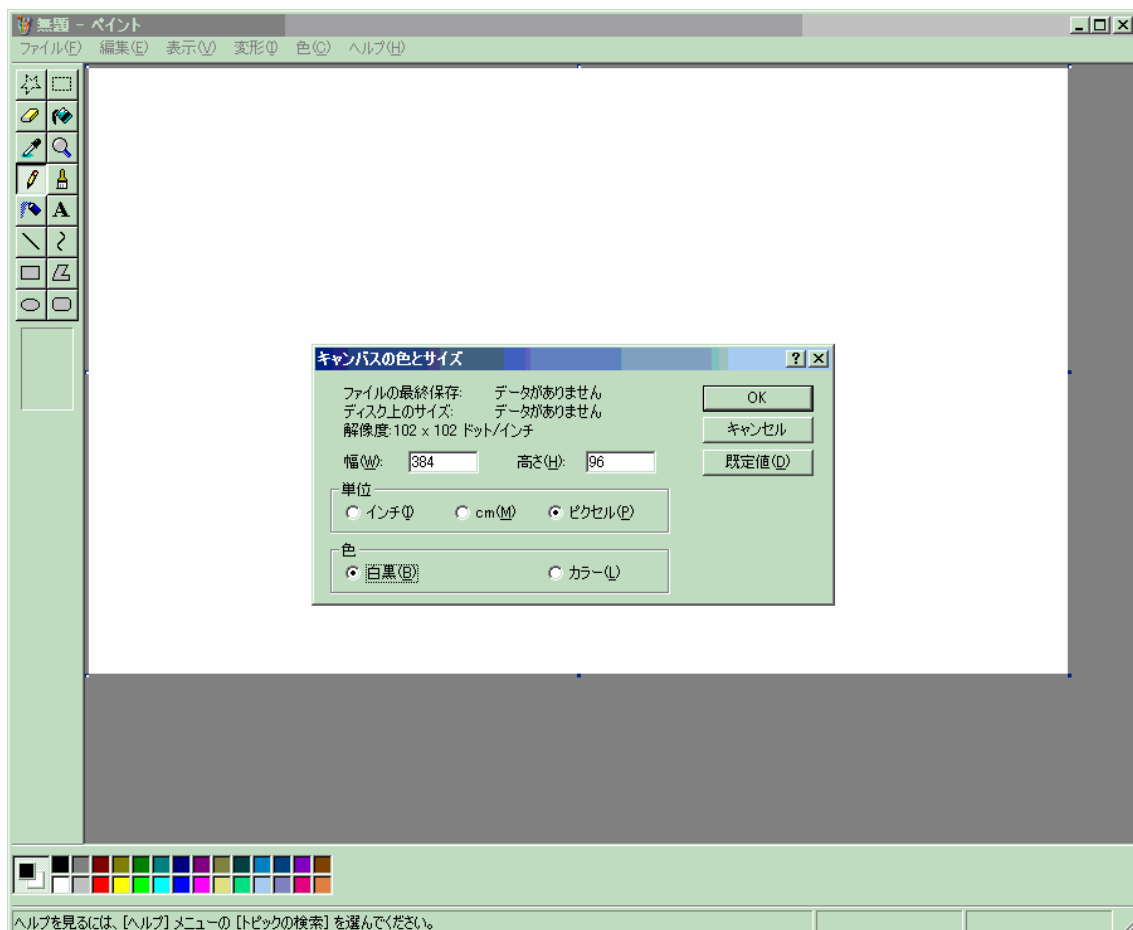
グラフィックの作成手順を次のページに記述します。

8.12 グラフィックデータの作成

グラフィックデータはあらかじめビットマップを用意する必要があります。

まずは、ペイントブラシ等でビットマップを作成して下さい。(今回はペイントブラシを使ってビットマップを作成してみます。)

1. Jet510/520 では、グラフィックヘッダー:縦 96 横 384 ピクセル、グラフィックフッター:縦 72 横 384 ピクセルとビットマップのサイズが決まっています。
Jet-M1200 では 縦 96 ピクセル、横 288 ピクセル、グラフィックフッターはありません。
ペイントブラシの[変形(I)]→[キャンバスの色とサイズ(A)]でサイズ変更します。

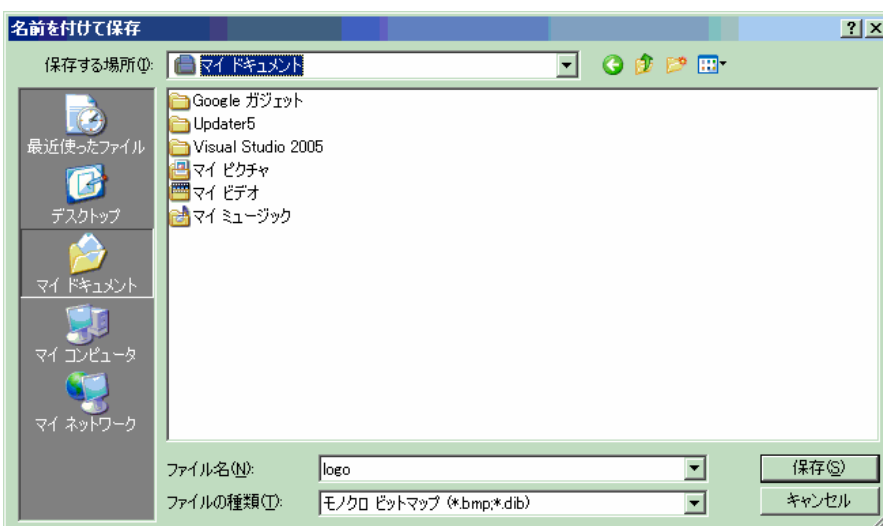


今回はグラフィックヘッダーを作成しようと思いますので、サイズは[幅]を 384、[高さ]を 96 にして[単位]をピクセルにします。また、色を”白黒”にしておくことをお勧めします。

(カラーのビットマップも PcTool で取り込めますが、EOR のグラフィックデータへ変換する際に白黒に変更されますので、色の部分が黒く塗り潰される可能性があります。)



作成したビットマップをファイルに保存します。



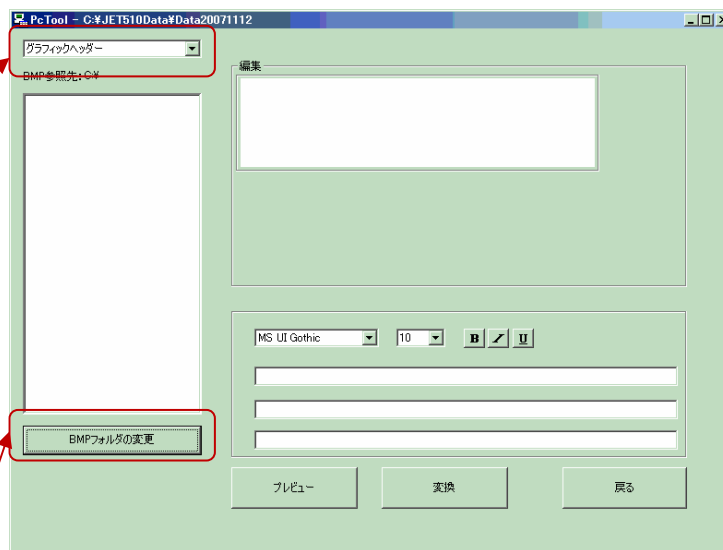
今回は logo.bmp というファイル名で c:¥に保存します。

[ファイルの種類(T)]がモノクロビットマップになっていない場合はモノクロビットマップで保存して下さい。(前述したようにカラーはグラフィックデータ変換時に色が潰れる可能性があります。)

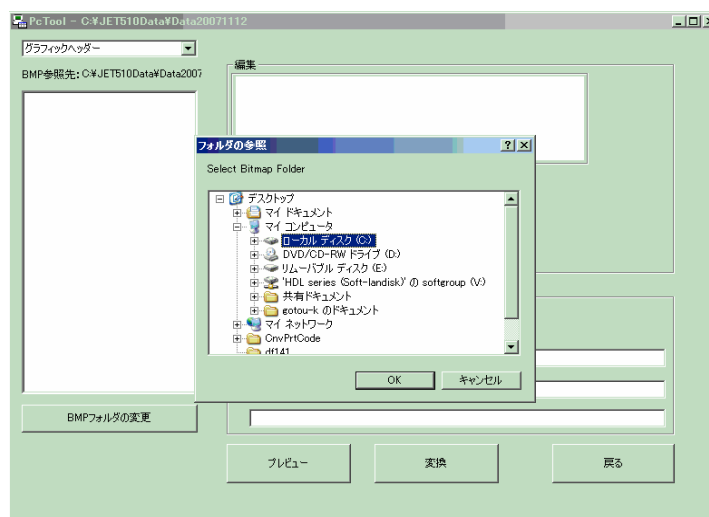
PCTool を立ち上げて[ロゴ]ボタンからロゴ画面を表示します。

初めに[グラフィックヘッダー]か[グラフィックフッター]どちらを作成するか決めます。
(今回はグラフィックヘッダーを作成します)

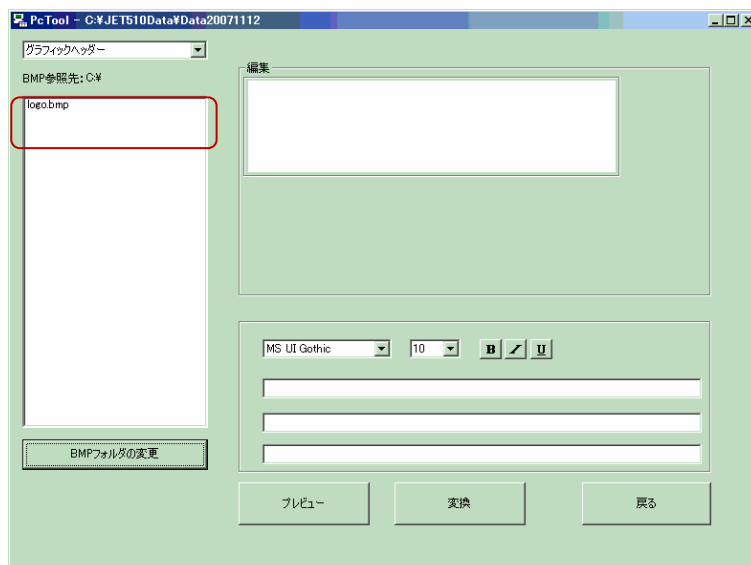
次に BMP フォルダの変更を押して挿絵とする BMP が保存されているフォルダに変更します。



今回は C:\¥に保存しましたので C:\¥を選択し OK を押します。



作成した logo.bmp が BMP 選択リストに表示されます。



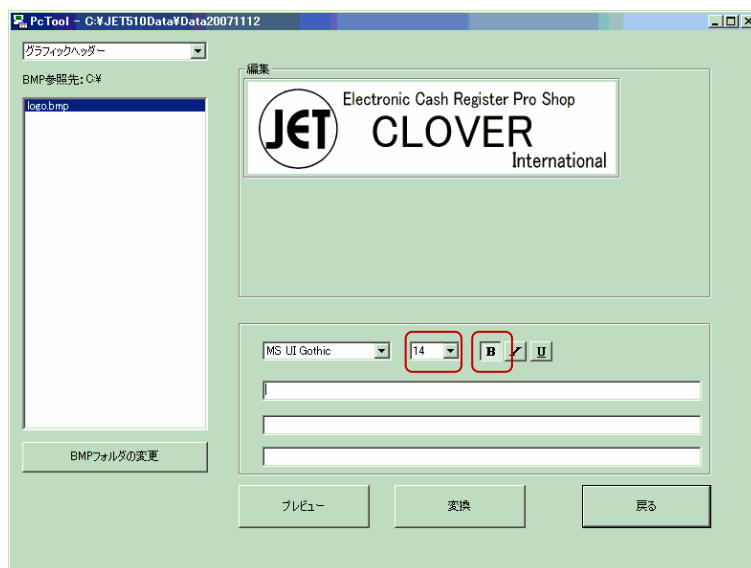
logo.bmp を選択すると編集エリアに内容が表示されます。

※今回はサイズを調整してビットマップを作成しましたが、サイズが大きなビットマップの場合、はみ出した部分はカットされます。

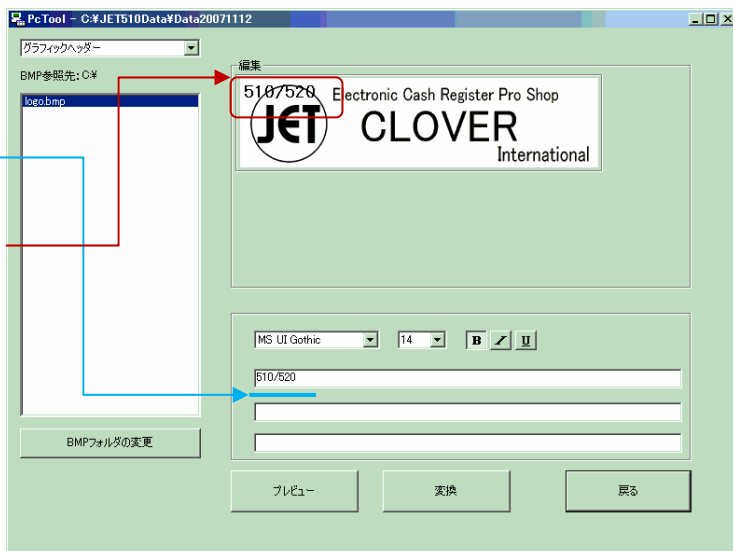


CLOVER の下に 510/520 という文字も 14 ピッチボードで入力してみます。

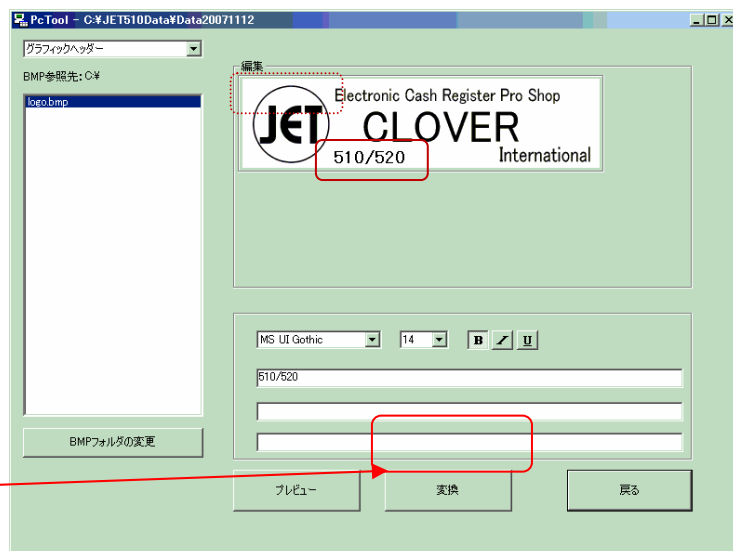
まずフォントサイズリストから 14 を選択し、ボードボタンを押します。



次に入力フィールド 1 に
510/520 と入力すると
編集エリアにサイズ 14 のボー
ダルで 510/520 と表示されます。
(入力フィールド 2, 入力フィー
ルド 3 でも結構です。
最大 3 つの文字列を入れるこ
とができます)

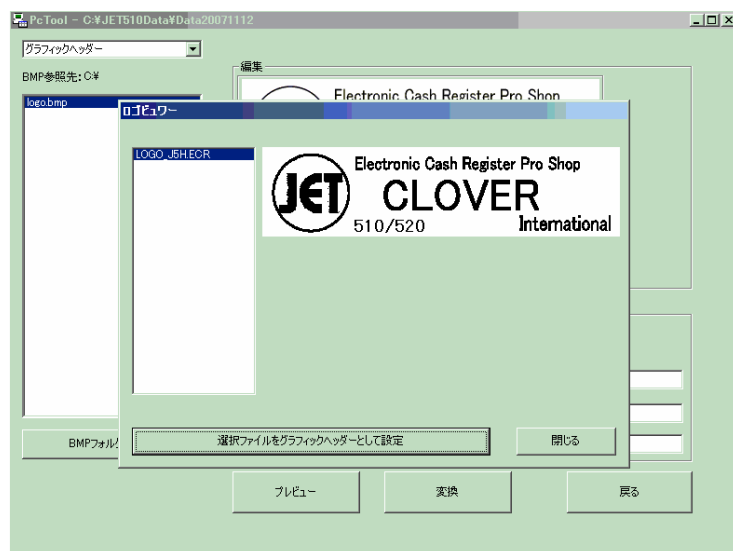


編集エリアに表示された
510/520 の上にマウスポインタ
を持っていくと+に変わります。
その状態でマウス左ボタン
押しっぱなし(ドラッグ)
にして CLOVER の下に位置まで
移動します。



これで作成する画像ができた
ので変換ボタンを押下し転送
イメージを作成します。

変換が開始されプレビューが
自動的に表示されます。
※変換に失敗するとエラーが表
示されます。(エラーに関しては
[- 49 -] ページの[表 2 変換
時のエラー一覧]を参照して下
さい)

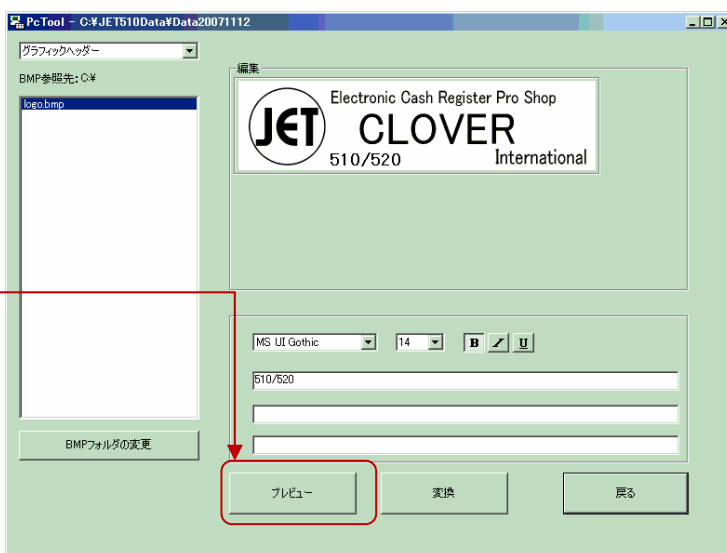
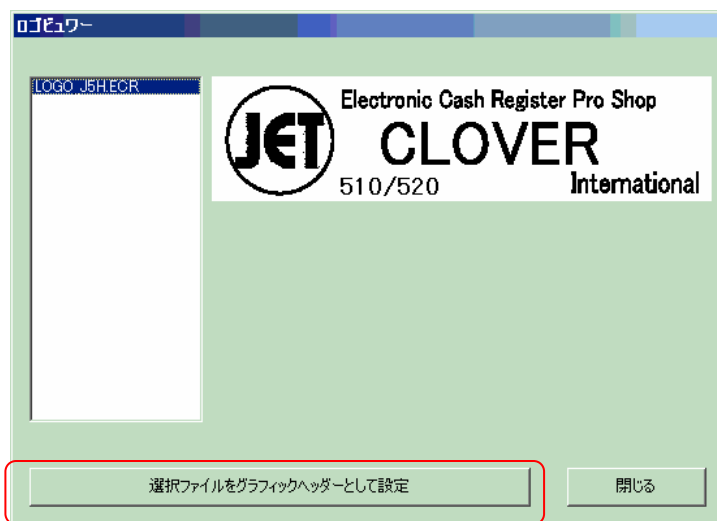


[選択ファイルをグラフィックヘッダーとして設定]ボタンを押下し転送イメージとして確定します。

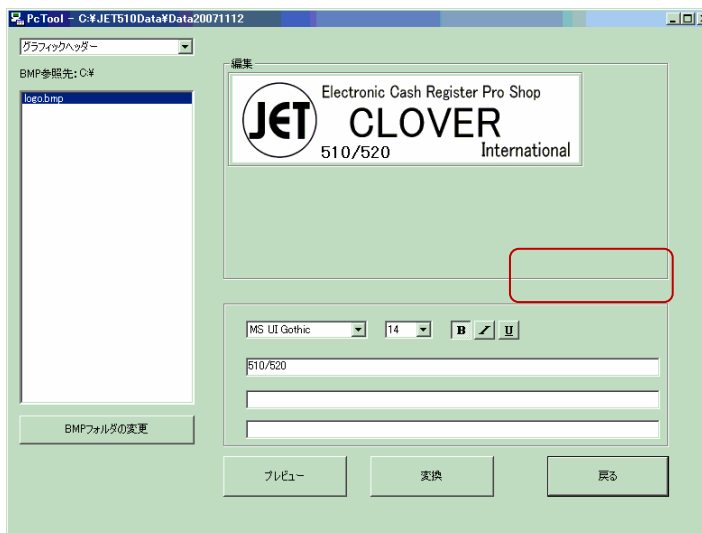
その後、[閉じる]ボタンを押下し<ロゴ>画面に戻ります。

これを押さなければ転送イメージとしては確定されません。

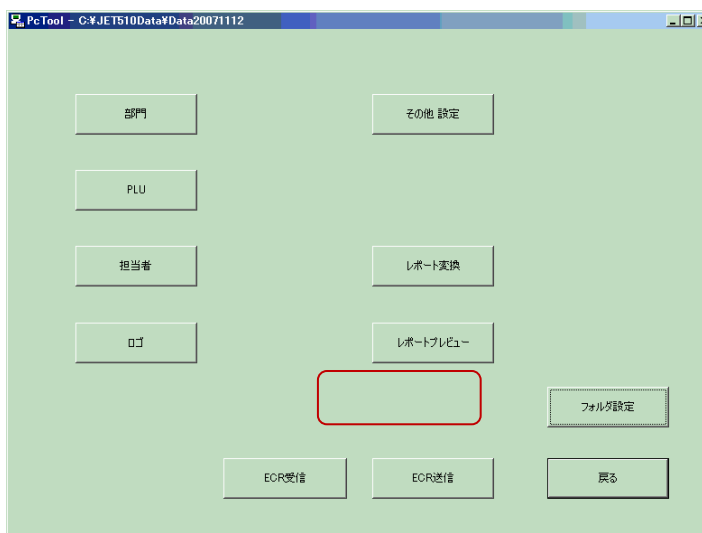
ボタンを押さずに戻った場合でも、転送イメージは削除されることはありませんので [プレビュー]ボタンを押下して転送イメージをプレビューしなおすことができます。



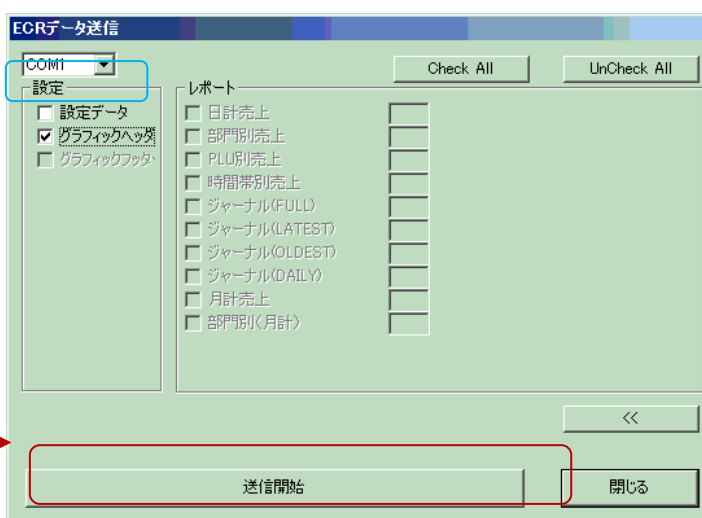
〈ロゴ〉画面の[戻る]ボタンを押下して〈選択〉画面に戻ります。SDカードをご利用の場合は以下は不要です。このままSDカードをPCより抜く操作を行います。SDカードをECRに接続し、ロゴのロードを実行してください。ECRによって、ヘッダーロゴを印字する／しないの設定が必要になります。詳細は ECR 取説をご参照ください。



[ECR 送信] ボタンを押下し先ほどのイメージを ECR に転送します。



グラフィックヘッダーにチェックを入れ [送信開始] ボタンを押します。



正常に送信が完了した後、ECRでレシートを印字しヘッダーロゴが変わっていることを確認します。

以上でグラフィックデータの作成は完了です。

変換時のエラー

Code	内容
08010000H	変換元ファイルのオープンに失敗
08020000H	変換元ファイルの読み込みに失敗
08030000H	変換先ファイルの作成に失敗
08040000H	変換先ファイルの書き込みに失敗
F0010000H	変換アプリを使用中

表 2 変換時のエラー一覧

08010000H~08020000H が表示された場合、選択した BMP フォルダのハードディスクドライブの未使用領域がほとんどなくなっている状態でないか確認して下さい。

F0010000H が表示された場合、本ソフトを複数立ち上げ、同時に変換を行っている可能性があります。しばらく待ってから再度[変換]ボタンを押下して下さい。